



東毛流域下水道 幹線管渠整備



(都)上矢島米岡線 バイパス整備



利根川(前橋・高崎・玉村工区) 堤防かさ上げ

よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業 の 目的、効果、進捗状況 を 情報発信 ～

佐波伊勢崎地域

令和7年度版

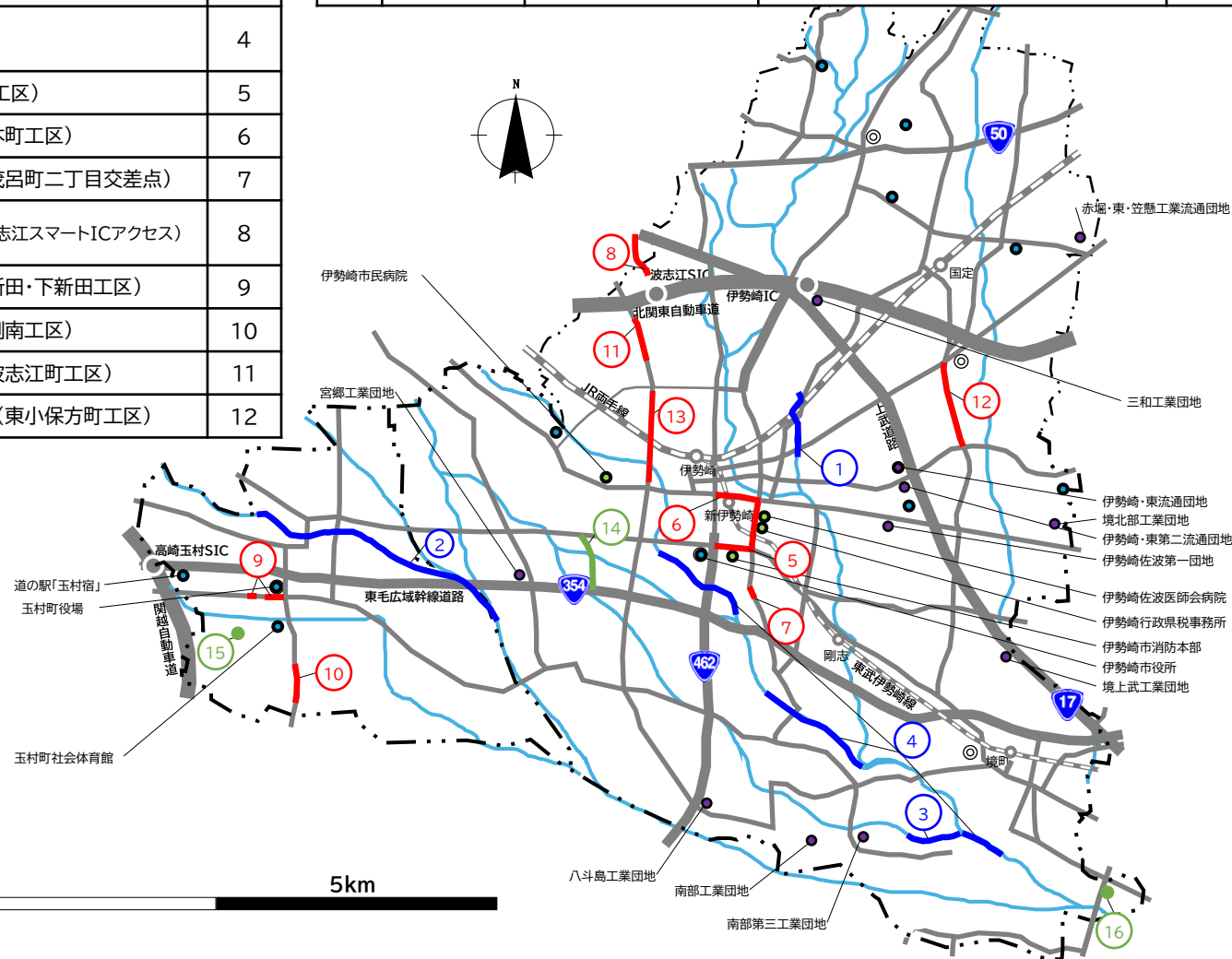
佐波伊勢崎地域



番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	河川改修	伊勢崎市日乃出町～豊城町	一級河川男井戸川	1
2		伊勢崎市柴町～玉村町上福島	一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)	2
3	堤防強化	伊勢崎市境小此木	一級河川荻川	3
4		伊勢崎市境中島～新栄町	一級河川広瀬川	4
5	電線共同溝	伊勢崎市今泉町	国道462号(今泉町工区)	5
6		伊勢崎市東本町	県道前橋館林線(東本町工区)	6
7	交差点改良	伊勢崎市茂呂町	県道伊勢崎深谷線(茂呂町二丁目交差点)	7
8	道路新設	前橋市飯土井町～伊勢崎市波志江町	県道苗ヶ島飯土井線(波志江スマートICアクセス)	8
9	歩道整備	玉村町上新田～下新田	県道綿貫篠塚線(上新田・下新田工区)	9
10		玉村町角刈	県道藤岡大胡線(角刈南工区)	10
11		伊勢崎市波志江町	県道伊勢崎大胡線(波志江町工区)	11
12		伊勢崎市東小保方町	県道境木島大間々線(東小保方町工区)	12

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
13	電線共同溝	伊勢崎市太田町	県道伊勢崎大胡線(太田町工区)	13
14	幹線管渠整備	伊勢崎市境平塚ほか	流域下水道(佐波処理区)	14
15	処理場整備	玉村町上之手	流域下水道(県央処理区)	15
16		伊勢崎市境平塚ほか	流域下水道(佐波処理区)	16

凡 例	
【事業分野区分】	
—	道路事業
—	河川事業
●	砂防事業
●	その他事業(下水、住宅等)
【その他】	
●	主要な防災拠点(第1次防災拠点)
●	主要な防災拠点(第1次防災拠点以外)
●	主要な物流拠点(産業団地)



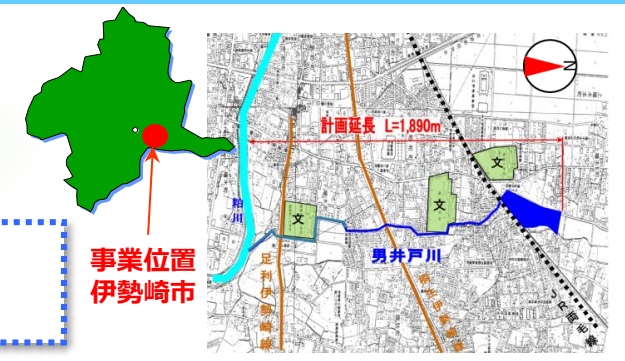
どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる水の量を増やします

地元の声

- 川の流れがところどころで直角に曲がっていてそこで水が流れにくくなり溢れている。(地元区長)
- 川から溢れた水が住宅のそばまでみるみる迫って来て、庭先や道路が川になります。(地元住民)
- 早く浸水が起こらないようにしてほしい。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 伊勢崎市日乃出町～豊城町
- 事業内容: 河道改修 延長 1,890m
調節池 容量51,000m³
- 事業期間: 平成12年度～

- 現況流下能力: 約2m³/s
- 計画流量 : 7.5～20m³/s

事業前

大雨の時、水が一度に小さい河道に流れ込むため、水害リスクが高い状況です。

浸水状況 (H20.7)

せまい河道

事業前の状況

事業後

大雨の時、調節池に水を貯めることで下流へ流れ込む水の量を減らします。

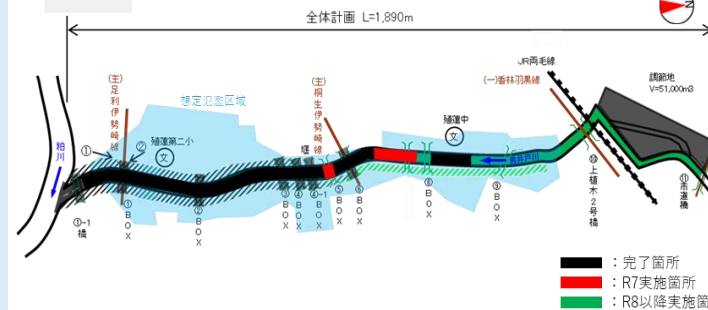
調節池整備

川幅等を拡げることで、大雨の時に川に流せる水の量を増やし、水害リスクを軽減します。

河道の拡幅

事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、引き続き河道整備工事を実施します。

現在の河道

道路の下(地中)に新しい河道を整備します

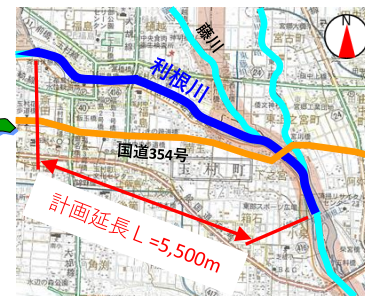
成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	19.4ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	215戸
想定氾濫区域内の浸水教育施設数	2校

実施後(目標)
0ha
0戸
0校

一級河川 利根川（伊勢崎・玉村工区） 河川改修事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減し、
社会経済の壊滅的な被害を回避するため堤防の整備や川の土砂を掘削する
ことで、流せる水の量を増やします事業位置
伊勢崎市
～玉村町地元
の声

- ・洪水の時に不安なので、堤防の高さが足りないところは高くしてほしい。（地元住民）
- ・川に堆積している土砂より、水がせき上げられ、氾濫する危険が高まっているのではないか。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市柴町～玉村町上福島
- 事業内容：堤防整備（高上げ・新設）
河川内の土砂掘削 等
延長 5,500m

- 事業期間：平成27年度～
- 現況流下能力：約3,700m³/s
- 計画流量：6,000m³/s

事業前

- ◆ 堤防がない又は低いため、大雨の時は河川氾濫により浸水するリスクが高い状況です。

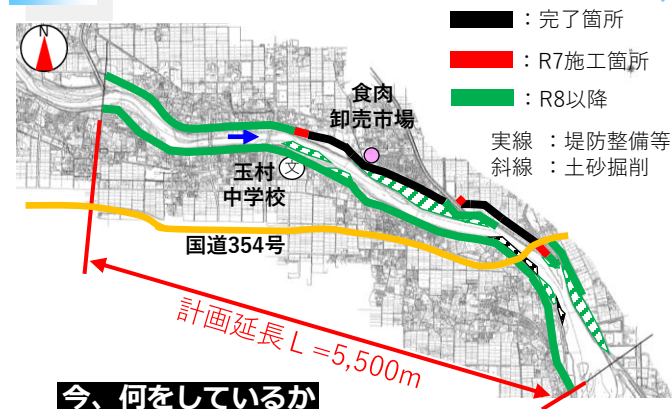


事業後

- ◆ 堤防を整備するとともに、河川内の土砂を撤去することで、下流へ安全に流せる水の量を増やし、河川氾濫による浸水リスクを軽減させます。



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は用地取得、埋蔵文化財調査、測量、詳細設計、堤防整備工事を実施します。



成果を示す項目

実施前

想定氾濫面積	4,500ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	24,500戸
想定氾濫区域内の浸水工業団地数	6団地

実施後（目標）

0ha
0戸
0団地

事業のすすみ具合

事業開始●

●事業完了

事業継続中

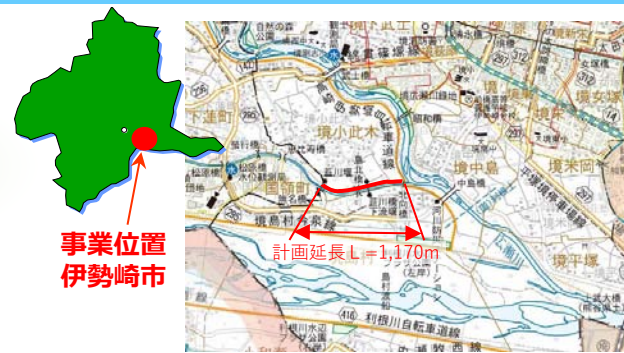
どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防の弱点を改善して
堤防を強化します

地元の声

・大雨の際に川の水位が上がって、堤防が壊れてしまう心配がある。(地域住民)



事業の概要

- 事業箇所:伊勢崎市境小此木
- 事業内容:堤防強化 全体延長 1,170m
- 事業期間:令和6年度～

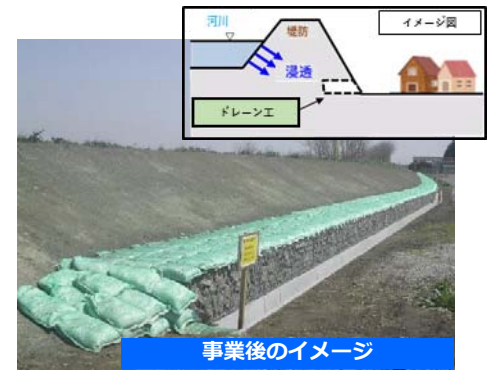
事業前

- ◆ 河川水位が高い状況が続くと、堤防内に河川水が浸透し、漏水をきっかけに決壊するおそれがあります。



事業後

- ◆ 堤防に浸透した水を速やかに排水する構造にし、堤防が強化されます。



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は詳細設計・用地調査を実施します。



成果を示す項目	実施前
洪水時に水位が高い状態が続いた時※の堤防の安全性	△:決壊の恐れあり

※記録が残る過去の降雨から、最も堤防に河川水が浸透する条件を想定

実施後(目標)
○:安全

事業のすすみ具合

事業開始

..... 事業完了

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防の弱点を改善して
堤防を強化します

地元の声

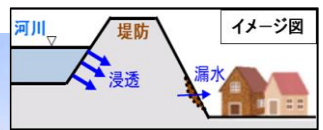
・大雨の際に川の水位が上がって、堤防が壊れてしまう心配がある。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所:伊勢崎市境中島～新栄町
- 事業内容:堤防強化 全体延長 6,880m
- 事業期間:令和6年度～

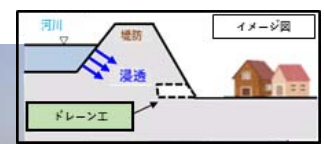
事業前

- ◆ 河川水位が高い状況が続くと、堤防内に河川水が浸透し、漏水をきっかけに決壊するおそれがあります。



事業後

- ◆ 堤防に浸透した水を速やかに排水する構造にし、堤防が強化されます。



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は詳細設計・用地調査を実施します。



成果を示す項目	実施前
洪水時に水位が高い状態が続いた時※の堤防の安全性	△:決壊の恐れあり

※記録が残る過去の降雨から、最も堤防に河川水が浸透する条件を想定

実施後(目標)
○:安全

事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して
電柱を撤去します

地元の声

・災害時におけるライフラインを確保してほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市今泉町二丁目～東本町
- 事業内容：電線共同溝 延長3,600m
- 事業期間：平成30年度～
- 現在の交通量：14,930台/日（自動車）
23人/12時間（歩行者）
61台/12時間（自転車）

事業前

◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



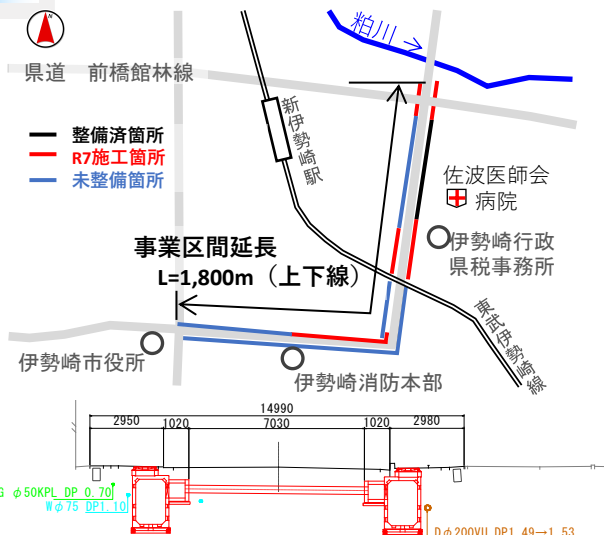
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
交通拠点と防災拠点間 （駒形IC～伊勢崎消防本部） の無電柱化率	33%
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後（目標）
56%
なし



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は本体管路工事と、本体工事が完了した箇所の引込管路工を実施します。



県道前橋館林線（東本町工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

地元の
声

・災害時におけるライフラインを確保して欲しい。（地元住民）

電線を地中化して
電柱を撤去します

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市本町～東本町
- 事業内容：電線共同溝 延長1,800m
- 事業期間：令和5年度～

事業前

- ◆ 電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
交通拠点と防災拠点間 （駒形IC～伊勢崎消防本部） の無電柱化率	33%
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後（目標）
68%
なし

事業のすすみ具合

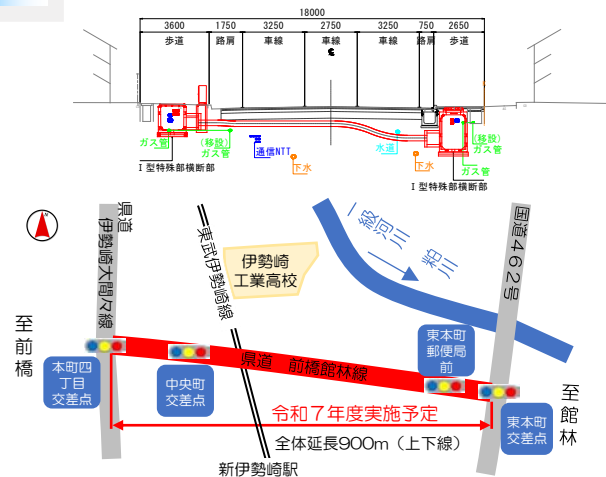
事業開始



事業完了

事業位置
伊勢崎市

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は電線共同溝の本体工事に支障となる物件の移設等を行います。



現在の状況

県道伊勢崎深谷線(茂呂町二丁目交差点) 交差点改良事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

地域の円滑な通行を確保するため

交差点を改良します

地元の声

- カーブ内に交差点があり、見通しが悪いため、渋滞が発生している。(地元住民)
- 周辺に小学校や児童クラブといった施設があるため、歩道を整備してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 伊勢崎市茂呂町
- 事業内容: 交差点改良 延長280m
- 事業期間: 令和4年度～

現在の交通量: 10,180台/日(自動車)
(R3年度)

事業前

- ◆交差点前後の見通しが悪いことから、渋滞が発生しています。また、交差する市道も食い違っており、危険な状態となっています。
- ◆茂呂小学校の通学路になっていますが、歩道がなく、歩行者が危険な状態となっています。



事業前の状況

事業後

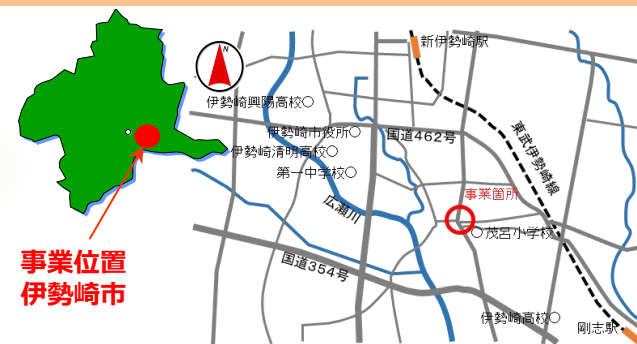
- ◆交差点前後の見通しが良くなり、渋滞が解消されます。また、交差する市道の食い違いも解消され、安全に通行できるようになります。
- ◆歩道を設置することで、歩行者が安全に通行できるようになります。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
一方向あたりの最大渋滞長	140m
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
0m
100%



事業位置
伊勢崎市

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、引き続き用地取得を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

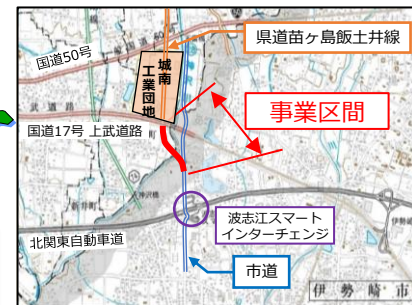
県道苗ヶ島飯土井線（波志江スマートICアクセス） 道路新設事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

物流の効率化による産業の発展を図るため

ICアクセス道路をつくります



地元の声

- ・地域経済の活性化のため、城南工業団地から波志江スマートICへのアクセス性を向上してほしい。（地元住民）
- ・上武道路との交差点の渋滞緩和、大型車が安全にすれ違える道路にしてほしい。（地元住民、地元企業）

事業の概要

- 事業箇所：前橋市飯土井町～伊勢崎市波志江町
- 事業内容：道路新設 延長 0.7km 道路幅 10.25m
- 事業期間：令和元年度～

- 現在の交通量※：7,561台/日(自動車)
：7人/12h(歩行者)
：26台/12h(自転車) ※飯土井町交差点より北側
- 計画交通量：7,200台/日(自動車)
(R12年度)

事業前

- ◆ 上武道路以南は県道が整備されておらず、市道を介して波志江スマートICへ接続し、アクセス性に支障をきたしているため、上武道路との交差点では渋滞が発生しています。



事業前の状況

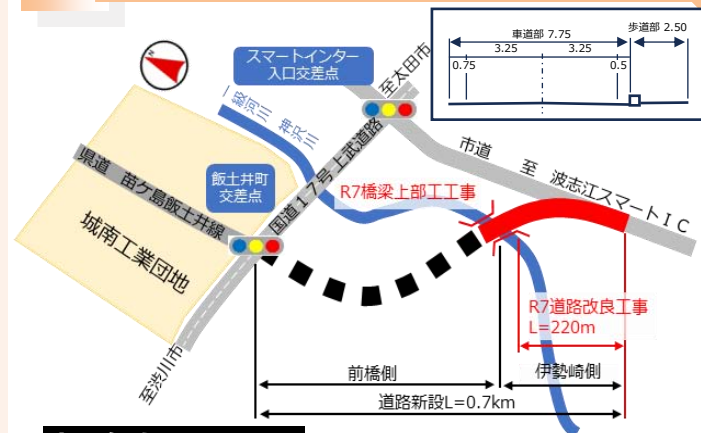
事業後

- ◆ 道路新設により、波志江スマートICへのアクセス性が改善され、移動時間が短縮します。
- ◆ 上武道路との交差点には右折レーンが設置され、交通渋滞が緩和します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、橋梁工事、道路改良工事を推進します。



成果を示す項目	実施前
移動時間(城南工業団地→波志江スマートIC)	8分
飯土井町交差点(上武道路交差点部)の渋滞長	150m



実施後(目標)
3分(▲5分)
渋滞なし(150m減少)

事業のすすみ具合

事業開始●

● 事業完了

県道綿貫篠塚線（上新田・下新田工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

地元の声

・中央小学校の通学路であるが、歩道の段差が大きく危険であるため、安全に歩けるよう歩道をつくってほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：玉村町下新田
- 事業内容：歩道整備 延長570m、歩道幅員1.5m
- 事業期間：令和4年度～
- 現在の交通量：8,085台/日（自動車）（R3年度）
131人/12時間（歩行者）（H27年度）
82台/12時間（自転車）（H27年度）

事業前

◆ 歩道が狭く、波打つ構造であるため、歩行者が危険な状態となっています。



事業前の状況

事業後

◆ 歩道と車道を分離するブロックを設置するとともに、歩道が平坦となり、歩行者が安全に通行できるようにします。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
平坦な歩道の整備率	0%

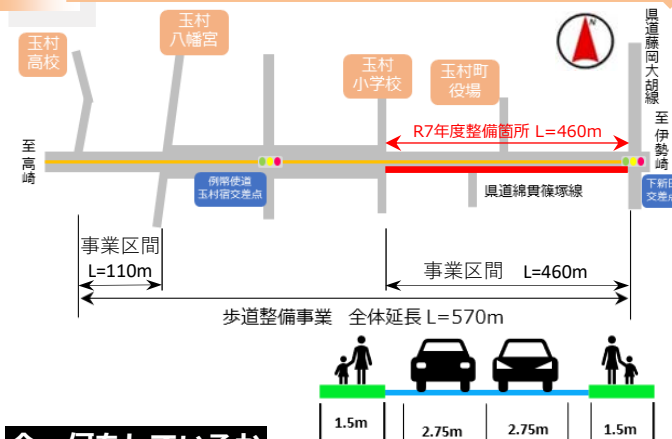
実施後（目標）
100%

歩道を整備します



事業位置
玉村町

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は北側歩道の工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

県道藤岡大胡線（角渚南工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

・新町駅や県立女子大に向かう際に利用されているが、道路幅が狭く危険であるため、安心して通行できる歩道・自転車道を整備してほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：玉村町角渚
 - 事業内容：歩道整備 延長640m、歩道幅員2.5m
 - 事業期間：令和6年度～
- 現在の交通量：
15,077台/日（自動車）（R3年度）
60人/12時間（歩行者）（H27年度）
364台/12時間（自転車）（H27年度）

事業前

◆道路幅が狭いことに加え、狭い片側歩道しかないため歩行者・自転車が危険な状態となっています。



事業前の状況

事業後

◆歩道を分離するブロックを設置するとともに、歩道幅を広げ、歩行者・自転車が安全に通行できるようにします。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	33%

実施後（目標）
100%

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は引き続き地元のご意見を伺い、詳細設計に着手します。



事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

県道伊勢崎大胡線（波志江町工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・通学路の一部に歩道がないところがあるため、通学に不安がある。（地元住民）
- ・県道は路肩が狭く、自転車や歩行者が危険な状況なので、歩道が必要だと思う。（地元区長）

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市波志江町
- 事業内容：歩道整備 延長790m 歩道幅2.5m
- 事業期間：令和5年度～
- 現在の交通量：15,792台/日（自動車）
88人/12時間（歩行者）
305台/12時間（自転車）

事業前

- ◆ 県道には歩道がなく、通学児童はやむを得ず市道を通行しており、安全な通行空間が確保されていません。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道を設置することで、通学する児童等の安全な通行空間が確保されます。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
法指定通学路の歩道整備率	31%
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後（目標）
100%
100%

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は用地調査を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

県道境木島大間々線（東小保方町工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道が狭く、段差があるため、歩行者や自転車の通行が危険。安全に利用できる歩道を整備してもらいたい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市東小保方町～東町
- 事業内容：歩道整備 延長1,600m
- 事業期間：令和6年度～

- 現在の交通量：10,803台/日（自動車）
81人/12時間（歩行者）
128台/12時間（自転車）

事業前

- ◆ 道路幅が狭いことに加え、狭い片側歩道しかないため、歩行者や自転車が危険な状態となっています。



事業前の状況

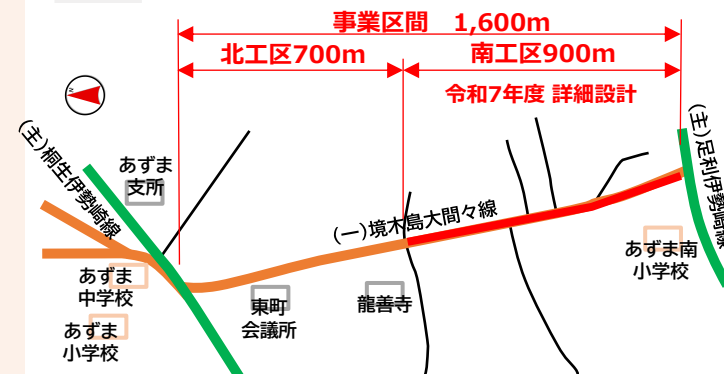
事業後

- ◆ 歩道と車道を分離するブロックを設置するとともに、幅を広げ、歩行者・自転車が安全に通行できるようにします。



事業後のイメージ

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は地元のご意見を伺い、南工区の詳細設計を実施します。



成果を示す項目

実施前

幅員2m以上歩道の整備率

0%

実施後（目標）

100%

事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

県道伊勢崎大胡線（太田町工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

地元の声

- ・通学の学生が多いので安全な歩道にしてほしい。（地元住民）
- ・電柱をなくして、地域の景観を向上させてください。（地元商店）

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市波志江町～連取町
- 事業内容：電線共同溝 延長3,260m
- 事業期間：令和5年度～

- 現在の交通量：15,792台/日（自動車）
（R3年度） 88人/12時間（歩行者）
305台/12時間（自転車）

事業前

- ◆ 電柱があるため、通学する生徒等の通行の支障となっています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道上の電柱が無くなり、通学する生徒等の安全な通行空間が確保されます。



事業後のイメージ

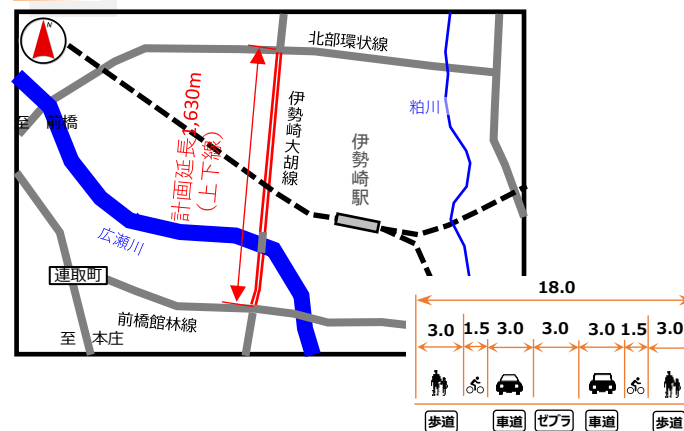
成果を示す項目	実施前
歩行空間の阻害のおそれ	あり
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後（目標）
なし
なし

電線を地中化して
電柱を撤去します



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は電線共同溝の本体工事の支障となる物件や街路樹等の移設、撤去を行い、本体工事に着手します。



事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

流域下水道 佐波処理区 幹線管渠整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

快適な生活環境づくりに向け、
汚水処理人口普及率を向上させるため下水道管を
つくります地元
の声

- ・伊勢崎市の汚水処理は遅れているので、早く下水道を整備してほしい。(地域住民)
- ・単独浄化槽が寿命なので、すぐに下水道につなぎたい。(地域住民)

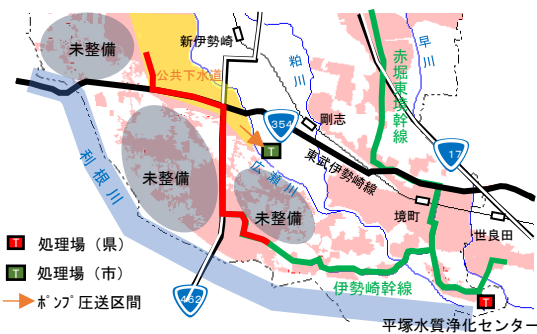
事業の概要

- 事業箇所: 伊勢崎市境平塚ほか
- 事業内容: 管渠築造延長 12,770m
管径 800mm~1,100mm

■ 事業期間: 平成21年度～

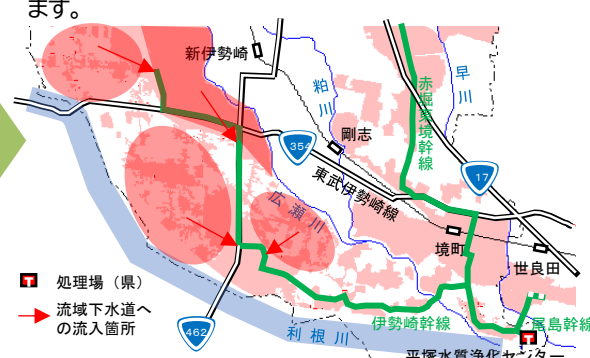
事業前

- ◆ 下水道が未整備の区域があります。
- ◆ 公共下水道の一部は、ポンプ圧送により広瀬川を横断させているため、維持管理コストがかかっています。

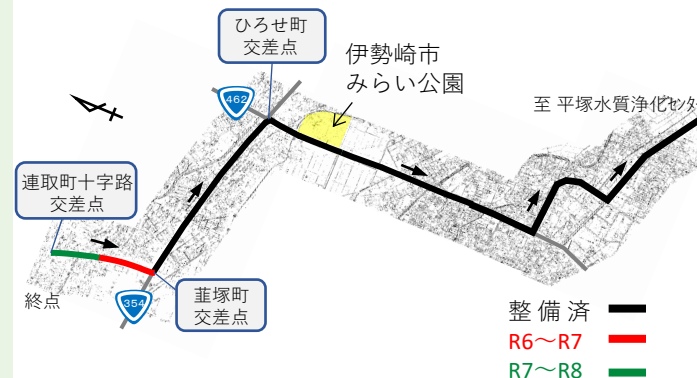


事業後

- ◆ 幹線が整備されることで、下水道整備区域が広がり、汚水処理人口普及率の増加が見込めます。
- ◆ 公共下水道の一部を流域下水道に切り替えることで、自然流下の区域が増えて、効率的な汚水処理が可能になります。



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は管渠築造
工事を実施します。

成果を示す項目

実施前

実施後(目標)

下水道整備済人口(佐波処理区)	17.7千人(R1)
下水道整備進捗率(佐波処理区)	13.7%(R1)

36.4千人(R9)
29.5%(R9)

※下水道整備進捗率…下水道整備済人口/下水道整備の全体計画区域内人口

事業のすすみ具合

事業開始●

●事業完了

流域下水道 県央処理区 処理場整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

快適な生活環境づくりに向け、
汚水処理人口普及率を向上させるため下水処理施設を
つくります地元
の声

・川の水環境をよくするため、下水道整備を進めてほしい。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所: 玉村町上之手
利根川上流流域下水道(県央処理区)
県央水質浄化センター
- 事業内容: 水処理施設や污泥処理施設の整備

- 事業期間: 昭和53年度～
- 処理区域: 前橋市・高崎市・渋川市・藤岡市・
富岡市・安中市・榛東村・吉岡町・
甘楽町・玉村町の一部

事業前

◆汚れた水が処理されずに河川などに流されています。



汚れた川 (事業前のイメージ)

事業後

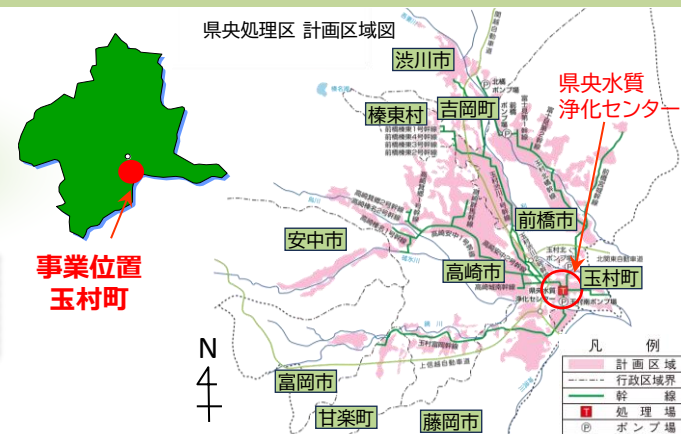
◆県央水質浄化センターに集められた汚れた水をきれい
にして川に戻すことで、川の水質が保全されます。

きれいな川 (事業後のイメージ)

成果を示す項目	実施前
下水道整備済人口(県央処理区)	491.0千人(R1)
下水道整備進捗率(県央処理区)	80.5%(R1)

実施後(目標)
523.9千人(R14)
94.0%(R14)

※下水道整備進捗率…下水道整備済人口／下水道整備の全体計画区域内人口



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は引き続き、
分水槽等の老朽化した施
設を改築更新します。

事業のすすみ具合

事業開始●

●●● 事業完了

流域下水道 佐波処理区 処理場整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

快適な生活環境づくりに向け、
汚水処理人口普及率を向上させるため地元
の声

- ・伊勢崎市の汚水処理は遅れているので、早く下水道を整備してほしい。(地域住民)
- ・単独浄化槽が寿命なので、すぐに下水道につなげたい。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所:伊勢崎市境平塚
東毛流域下水道(佐波処理区)
平塚水質浄化センター
- 事業内容:水処理施設や污泥処理設備の整備

事業前

- ◆汚れた水が処理されずに河川などに流されています。



汚れた川（事業前のイメージ）

事業後

- ◆平塚水質浄化センターに集められた汚れた水をきれいに
にして川に戻すことで、川の水質が保全されます。



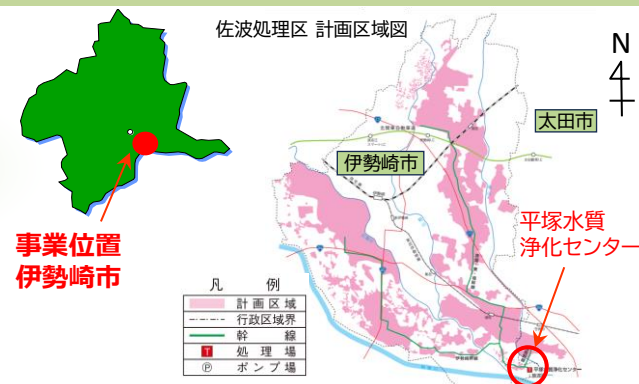
きれいな川（事業後のイメージ）

成果を示す項目	実施前
下水道整備済人口(佐波処理区)	17.7千人(R1)
下水道整備進捗率(佐波処理区)	13.7%(R1)

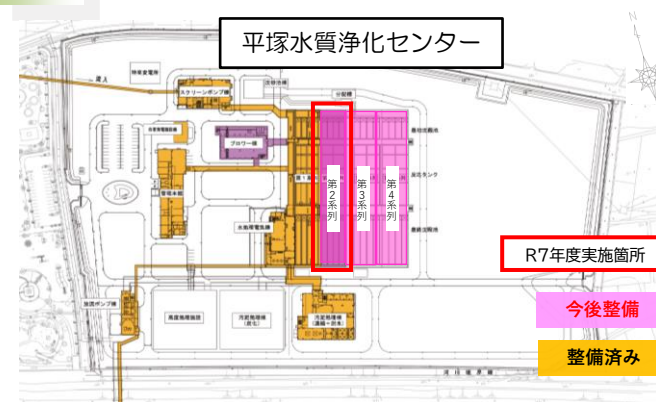
※下水道整備進捗率…下水道整備済人口／下水道整備の全体計画区域内人口

実施後(目標)

38.3千人(R14)
31.3%(R14)

下水処理施設を
つくります

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は水処理施設増設のために、第2系列の施設詳細設計を実施します。

水処理施設増設予定地



事業のすすみ具合

事業開始●

●事業完了